

プログラム応募の流れ

はじめて応募される方

はじめて0147のプログラムへ応募される方は、0147アカウントが必要です。

1. まず、0147アカウントへ登録します。
自身のプロフィール、スタートアップとしての自社の紹介などを記入します。

0147アカウント登録

応募する

1. 共創アイデアを用意しましょう。
2. 0147の応募入力画面で、共創アイデアの提案をおこないます。
10程度の質問が用意されています。それに答えるかたちで提案をおこなっていきます。
資料の添付も可能です。
3. エントリーはこれで完了です。

プロジェクト一覧へ

応募後の流れ

1次選考

エントリーした共創アイデアをもとに、選考がおこなわれます。

ブラッシュアップ

1次選考を通過すると、企業側の担当者と一緒に、アイデアをブラッシュアップする期間になります。

2次選考

ブラッシュアップしたアイデアで2次選考がおこなわれます。

プレゼン

2次選考通過後に企業側担当者と一緒に決裁者へプレゼンをしていただきます。

最終選考・採択

プレゼン後最終選考がおこなわれ、採択となります。
採択後は実証実験などを経て、事業化などへ進みます。

0147 の特徴

中堅・中小企業とのマッチングプログラム

イメージ

まだ日本では大手企業がオープンイノベーションを実施していることが多く、地方都市ではあまり進んでいない状況が続いております。そのため「XOSSMATCH」は、熊本市に事業所をもつ「売上3億円以上もしくは従業員数30人以上」を対象としており、一定規模以上の事業者でありつつも、大手企業（中小企業基本法）を対象外としたプログラムとなっております。

意思決定が早い事業者のみ

イメージ

中堅・中小企業の経営の特徴として、経営の意思決定が早いことが挙げられます。共創においては、双方の意向を合致させることが重要。この趣旨を理解いただいた事業者かつ決裁者による意思表明を参画条件にしているため、採択後の共創に前向きな企業と出会うことができます。

スタートアップ企業だけでなく個人も提案可

イメージ

応募に際して、企業規模を見られることはないのか。こうした提案側の不安と負担を減らすために、応募時点で「個人やフリーランスなどの提案を受け付けるかどうか」を表明していただいております。多くの事業者は、事業体を問わず募集しておりますので、ぜひ個人の方の提案もお待ちしております。

共創条件を事前に開示

イメージ

採択されて共創を検討しても、条件面で折り合いがつかないことも多くあります。こうしたミスマッチを防ぐために、採択後の関係性に対する意向や事業費に対する考え方も事前に表明いただいております。投資意向が高い事業者、資金はないけどリソースが潤沢で実証に用いていただける事業者など、スタートアップ企業等の意向に沿って提案先を検討いただければと思います。